

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
https://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテージビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com



特選！映画 インド人ダンサーのサクセスストーリー

歌って踊るインド映画の型破りな魅力は、おなじみだが、今秋パレエ&コンテに特化した正統派のドキュメンタリー作品が登場する。ニューヨークで活躍中のインド人ダンサー、マニー・シユ・チャウハンが主演する「コール・ミー・ダンサー」だ。18歳のマニー・シユは、映画で見たアクロバティックなダンスに魅了され、ダンサーになることを決意する。スタートは遅かったが、天性の身体能力、米人ダンス教師イエフダからパレエの基

礎を叩き込まれたことで、マニー・シユはプロ・ダンサーへの第一歩を踏み出すが…。

マニー・シユの最大の理解者となるイエフダ

「コール・ミー・ダンサー」
11月29日～センチュリーで



はダンサー、指導者として数々の実績を築き、現在もインドでパレエ教師をしている。監督のレスリー・シャンパインは元パレエダンサーで、実際に

異界↔現世、目を見張る舞台美術



劇団四季「バケモノの子」好評上演中

劇団四季のミュージカル「バケモノの子」が名古屋四季劇場で快調な公演を続けている。細田守監督の同名人気アニメ映画を原作に、最強のバケモノと人間の孤独な少年の「親子」が血のつながりを超えて絆を深め、助け合って共に成長する姿を写す話題作だ。チラシのうたい文句「驚天動地」想像を超えたスケール」が決して大げさでなく、斬新でテンポのいい舞台からは一瞬たりとも目が離せない。

気鋭のクリエイターの高橋知伽江(脚本・歌詞)、青木豪(演出)、富貴晴美(作曲・編曲)らが創造力を結集させた作品で、2022年4月に東京で開幕。約11カ月の公演で23万8千人が観劇し、四季オリジナルミュージカルの初演で最長かつ最大の

奇抜なクライマックスに仰天！
動員数を記録したという。大阪に次いで今年9月11日から名古屋公演が幕を開けた。

バケモノたちが住む異世界「渋谷」と現代の人間界の東京「渋谷」を

行き来しながら物語は進む。母を亡くした少年の蓮が渋谷に迷い込み、乱暴者だが信念のあるバケモノの熊徹に弟子入りして真の強者になるための修業に励む。人間界では可憐な女子高生・楓と出会って学問に目覚めた蓮の自分探しも始まる。心の奥深くに宿る闇と輝きを明快に描き出す熱

い物語は、多彩で流麗な楽曲によっても増幅される。血と汗がにじむような稽古を重ねてきた俳優陣は、役の個性を自らの心身に取り込み、情熱的でパワフルな歌唱や演技を見せる。動きも鋭い。名古屋の小学生ら子役たちもみずみずしい。

舞台美術が目を見張るばかりの見事さだ。温か

な色調で祝祭感あふれる異界に対し、現世はメタル調の構造物が冷たく光る。二つの世界の対照は最新鋭の舞台機構や二重の回り舞台で効果的に表出され、物語は流れるように展開していく。

バケモノたちの多種多様な容姿は特殊メイクやマスクで表情豊かに、立体的に造形される。巨大

ホルムを拠点に、世界各国で活動を展開するシルクール。今回の上演作品は「ニッティング・ピース」。様々なサイズのロープや巨大な糸玉を用い、5人のパフォーマーがスリリングで幻想的なステージを繰り広げる。

全指定SS席6000円、S席5000円(25歳以下半額)、A席4000円(同)、B席3000円

パペットに化身しての戦闘シーンは迫力満点。クライマックスに白鯨が大暴れする奇抜さには驚嘆する。色鮮やかな照明や衣装も美しく、プロジェクションマッピングでの情景は幻想的だ。

四季が創立以来掲げている普遍的テーマ「人生は生きるに値する」「人生は素晴らしい」が息づく。

大切な人と心を一つにする優しさや温もりが劇場を潤して心地よい。希望と勇気に満ちた人生賛歌に、「明日も元気に、前向きに生きていこう」と心の底から思えたのである。

◇来年2月9日までの期間限定公演。問い合わせは0570-0008-110(ナビダイヤル)

大ホールで第21回演奏会を行う。

プログラムはモーツァルトの歌劇「後宮からの誘惑」(ソプラノ・板倉歌奈子)と「交響曲第36番」(リッツ)、「マーラーの「交響曲第4番」」。指揮は同オケ初登場の藤崎奈美。

刈谷市文化センターはJR「名鉄」刈谷駅直結。全自由席1000円。TEL0800(4096)1842。

不可能を可能にーシルクール来日公演「Knitting Peace」

11月26日 愛知県芸術劇場



「サーカス・シルクール」(撮影・Mats Bäcker)

日公演を行う「サーカス・シルクール」(スウェーデン)もそうだ。

「不可能を可能にする」をテーマに掲げ1995年に創設。以来ストック

スポーツ少年、ギターにのめり込み

「より自分らしく」と遠藤

スポーツ少年だったが、高校時代、誘われてバンドを始め、ギターの魅力にのめり込んだ。18歳で東京へ向かい、MIYAVIら優れたギタリストがいるP.S.C.O.M.P.A.N.Y.に所属。ビジュアル系バンドでツアー、楽曲制作など積極的に活動したが「より自分らしく音楽を作りたい」という思いがつのり、20代半ばに独立。ロックバンドを始めた。

「それまでのファンも減り、改めて本当に音楽に真剣に向き合うことに



「より自分らしく」と遠藤

「それまでのファンも減り、改めて本当に音楽に真剣に向き合うことに

なった。どんなに大変でも、音楽をやることが生きる意味だと答が出た時期と振り返る。ソロに費やす時間が増えたのもこの頃。「押尾コータローさんの演奏を聴いて、ギターの可能性を感じた。自分のモチベーションがある限り、進み続けられる形」と話す。

その後、名古屋に拠点を移し2005年にギター教室「ビーンズ・ス

「音楽には誰かを癒やし、元気づける力がある。聴いた人が元気になる演奏を見せたい」と話す。

(聞き手・竹本真哉)

トシ・カプチーノ ニューヨーク・キャバレー・ショー

ザ・昭和歌謡・夜もヒッパレ!

2024.11/14 thu open 14:30 start 15:00 charge adv.5,000yen

ブロードウェイミュージカル「RENT」等の著作権を取得、ミュージカル「シカゴ」など翻訳上演プログラムへ執筆。キャバレーアーティストとしてNYを中心に、米・南米で活動。NHK「サラメシ」NY特派員、日本テレビ「ZIP!」に出演。圧倒的な歌唱力、笑いを取り入れた軽快なトークによるトシ・カプチーノの世界をご堪能下さい!

Cafe Concert **エルム** 名古屋市千種区吹上2-4-5
TEL 052-733-0085 エルム シャンソン 検索



現代舞踊の玉田弘子 東・大からダンサーを迎え 12月22日 ちくさ座で 「導かれてここに今」

現代舞踊の詩人玉田弘子が12月22日(午後5時)千種文化小劇場で「導かれてここに今」を開く(入場無料、要整理券)。幼少期から島田豊年、奥田敏子に師事。1985年に「玉田弘子

モダンダンスグループ」を開設し、今日まで指導、公演活動を継続している。年輪とともに精神を解き放ち、侘しさとユーモアを混在させた独特のダンススタイルには定評がある。



玉田弘子モダンダンスグループ

をを迎え、教え子たちとともに多彩なステージを繰り広げる。
TEL052(764)2067。

バレエ、モダン踊る神原ゆかり 11月30日・12月1日 北文化で公演

バレエからモダン、舞踏へと活動ジャンルを拡大するダンサー神原ゆかりの「ゆかりバレエ公演」を行う。日時は11月30日(午後6時)と12月1日(午後4時)北文化小劇場。プログラムは生演奏とのコラボレーションによる「融合、朗読を交えた「ハムレット・マシーン」、そして神原ゆかりが演出、振付した長編コンテンポラリー「ラ



「ラヴ&パッション」。

出演ダンサーは神原のほか末原雅広、市橋万樹、牧村直紀、福田晴美ほか。演奏陣は福田展博(ギター)、小笠原綾乃(ピアノ)、井上二倫(和太鼓)、民謡藤栄会ほか。

全自由席3000円。TEL052(503)1446。

言葉とダンスが同時進行する妙味 山崎広太



「薄い紙、自律のシナプス〜」(撮影・Naoshi HATORI)

ダンスの協同ダンスフロア「薄紙、自律のシナプス、遊牧民、トキョー(する)」が県芸術劇場小ホールで上演された(10月5、6日)。

5人のダンサーは日本語ではない言語で膨大な言葉を発しながら踊り続ける。しかし、ミュージカルのような字幕はなく、テキストはパンフレットとして観客の手に託されている。その言葉とダンスは一致しないまま続いていく。説明なく始めれば作品理解への不安が生まれかねない形だが、冒頭に舞台上の山崎からダンサーの言葉とダンスが異なるレイヤーを持ちながら同時に進行していくこと、この作品を生んだ自身のダンス観などが語られる。それは、直後のシーンを理解するための入口であり、山崎の言葉とダンスを使ったこの上のない実践だ。観客は山崎の言葉に耳をそばだて、身体の動きに意味を探す。いつしか観客の背を向け、一心に踊り続ける山崎の姿は強く印象に残る。言語の習熟度、テキストを熟読したか否かによって、受け取る情報と感想は大きく変わるだろう。

楽器の魅力、演奏を通してアピール ハンマーダルシマー

キャリア7年の平野明子。幼少からピアノ、学生時代にはバンドを結成しドラムを担当。現在は豊橋市でハンマーダルシマー教室を開設している。

私は以前、中国出身の揚琴奏者と交流があり、幾度も演奏を聴いている。ハンマーダルシマーは(奏法にもよるが)揚琴に比べ、大きく派手な音が出る。平野は「ほとんど知られていないハンマーダルシマーを、一人でも多くの人に知ってほしい」とYOSECONに出演。来場者に試演させたりもした。無料の練習会も豊橋市内で行っている。楽器や教室について問い合わせはホームページ「ハンマーダルシマーAKIKO」で。

音楽回想ひとり語り

「ケ・セラ・セラ」

ドレス・デイは知らなくても、彼女の代表曲「ケ・セラ・セラ」は、たいしての人が知っているのではないかな。

タイトルは「なるよ」という意味で、元はスペイン語らしい。日本でもペギー葉山らが

歌ってヒット。先のこととは分からない、心配しても仕方がないというニュアンスで、よく使われた。当時流行語大賞があれば選ばれたに違いない。

ドレス・デイは1992年、米オハイオ州シンシナティに生まれた。プなどがある。

明るい歌声と、誰にも好かれる笑顔が魅力で、ラブ・コメディ調の映画「ミュージカルに多く主演した。2019年に97歳で死去。

「ケ・セラ・セラ」をはじめ、彼女の歌は今でも幅広いジャンルの歌手に歌われており、未永く歌い継がれていくだろう。(植田三郎)

ドレス・デイは知らなくても、彼女の代表曲「ケ・セラ・セラ」は、たいしての人が知っているのではないかな。

1956年映画と共にヒット 日本ではペギー葉山がカバー



ドレス・デイのアルバムジャケット

「ケ・セラ・セラ」をはじめ、彼女の歌は今でも幅広いジャンルの歌手に歌われており、未永く歌い継がれていくだろう。(植田三郎)

音ペン受賞者3者の名演で魅了



左から日比浩一、秀平雄二、松波千津子

冒頭は、ピアノ原田綾子、シューベルト「リスト」献呈など、リ「巡礼の年」第3年「から」エステ荘の噴水」など。美しいメロデーと、対照的な躍動感ある曲まで、温かな音響が響かせた。

次のソプラノ松波千津子は、ヘンデルのオペラアリア、モーツァルトのコンサートアリアで清らかな声を。ヴェルディ「椿姫」のアリア「花から花へ」などでは、ドラマチックな歌唱を聴かせた。共演のヴァイオリニスト日比浩一、ピアノ秀平雄二が寄り添って盛り上げた。後半は、ピアノ武本京子がヴァイオリン、森下麻奈と共演。ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ第五番」では安定感と奥行きがあるピアノ、繊細で美しいヴァイオリン

「音環」は10回をもって休演。その最後を飾る充実した内容だった。(上原)

歌を通して時代や社会が浮かんだ



熱唱する近野賢一

近野賢一(バリトン)がドイツ歌曲をライヴした。近野は2016年にシューマン、19年にマラーを特集したリサイタルを行い、22年にはシューベルトの歌曲「冬の旅」で名古屋市民芸術祭を受賞している。

タイトル「シューベルトアリア」とは、シューベルトが親しい友人を招いて行った私的な音楽会とか。今公演は、まさに近野が親しい友人たちをサロンに招き、様々な楽曲を披露した「コンノ・ティアーテ」になった。

当日はベートーヴェンからシューベルト、ブラームス、マラーら名匠9人の18曲を披露。曲を通して時代や社会が垣間見え、歌唱を通して近野の人間性をうかがうことが出来た。ピアノ伴奏は「2日前に(ドイツから)来日したばかりの」盟友ハイエット・シェディカーが務めた。強く印象に残ったのはシューベルトの「魔王」。前者では、そのドラマチックな情景が見るように浮かび上がった。後者のロマンチックなメロデーには馴染みがあったが、意外に教訓的な歌詞だったことに認識を改めた。良いコンサートだった。

作・演出・田尾下哲の発想に脱帽

「革命への行進曲」

作・演出家・田尾下哲の卓越した発想力、構成力に脱帽だ。モーツァルトの名作オペラ「フィガロの結婚」を題材にした田尾下哲の朗読音楽劇「革命への行進曲」(9月12、13日・HITOMIホール)である。

18世紀、君主制社会下のオーストリア。好色、傲慢な領主を、使用人たちが団結して懲らしめる「フィガロの結婚」の上演が認められるはずはない。モーツァルト(河野万史)と台本作家ポンテ(中井伸弥)は、上演許可を得るために宮廷検察官ヘーゲリン(榊原忠美)

舞台批評

榊原忠美と奥村育子



この作品には4人の俳優と4人の声楽家が出演した。興味深いのは主人公がモーツァルトではなく検査官のヘーゲリンであること。作家・田尾下は彼の誠実な人間性と潔さをクロージングアップ。朗読の巧者・榊原に大役を託した。4人の声楽家は随所で「フィガロ」のアリアを

歌い、時には俳優としてドラマを構築。奥村育子(スザンナ役)と青木エマ(伯爵夫人役)の端正な口舌が際立った。

行進曲では庶民の決起を表現したのである。なるほど音楽は雄弁で、モーツァルトは天才だった。しかしそれ以上に強く

印象に残ったのは、ヘーゲリンと同化した榊原の名演であり、脚本家・田尾下への深い考察力と洒落な演出である。最後になって口舌も素敵だった。

ロシア民謡。高谷は「ウクライナの民謡を一人でも多くの日本人に知ってほしい。ロシア民謡を演奏したの

劇団シアター・ウィークエンドの代表としてリードしてきた松本喜臣(よしおみさん)が10月15日、83歳で亡くなった。

昨年9月に劇団創立50周年の記念公演「音吉物語」を上演、自ら出演して健在ぶりを見せてからまだ1年余。その時久しぶりに再会したのが最後と

雄輔は、荒々しさと弱さのさじ加減も上々の敵役ぶりで作品の深みを増した。

物語は、実在した知多の船乗りが長期漂流した数奇な物語でロンドン、シナガポールなど海外公演も行った。

コール・フレゼス

混声合唱団「コール・フレゼス」



指揮者は高谷光信、ピアノは金子葉子。演奏会を開いた(9月29日・熱田文化小劇場)。ウクライナ・チェルニーヒウフイーハーモニールハーモニー交響楽団常任指揮者・高谷光信の直接指導を受ける、恵まれたアマチュア合唱団である。

後半は高谷と親交の深い作曲家・首藤健太郎の「声のいのち」(作詞・長月りんどう)、「インタードール」(作詞・金子葉子)委嘱初演、ウクライナの作曲家による合唱曲「キーウの鳥の歌」やピアノ連弾による「シンフォニックエッタより序曲」(演奏：北川美晃、金子葉子)、そして意外にも

断言できるから」と語り共感の拍手を浴びた。国際感覚にあふれ、信望の厚い指揮者に支えられ歌うことのできる「コール・フレゼス」の団員は幸いである。

ジュニアオリエジナル作品「しらゆきひめと鏡の国の魔女」は子供たちの上手下手はさておき、行儀の良い踊りや仕草に好感が持てた。日ごろの指導が基本に忠実で丁寧だからだろう。伸び盛りの勢いがある錦見煌と三谷凌平の「コッペリア」のグラン・パ・ド・ドゥは、高い跳躍と速い回転に俊敏性も加わって小気味よ

本朱里は力強さの中に艶っぽさも映えた。男性ゲスト陣も確かなサポートで貢献。正統的なコンラッドの高宮直秀は端正だし、精悍なアリの水城卓哉は超絶技巧が光った。市橋万樹や今中

付、演出で群を抜いたのはラストに登場した刈谷夏夏と黒のソロダンス「赤と黒のアダージョ」(振付・刈谷夏夏)だ。ナイヴで細密な動きに見とれているうちに、ある想像が浮かんだ。刈谷は、いま逆境にある盟友の復活を願って踊っている

「インプレッション」おもいのりんのひがはなが興味を引いた。毒性のある彼岸花を題材に作舞(服部由香里)したようだが、その意図までは理解できなかった。しかし理解できないのが現代舞踊の魅力でもある。圧倒的なダンス力、振

群抜いた！ 刈谷夏夏の劇的ステージ



「赤と黒のアダージョ」(撮影・水谷友也)

場のない、激しい舞台である。今回は新人4組(五代菜月・果凛姉妹、長谷川美羽、今泉美羽、神谷寧々)を含む14組が臨んだ。5人の新人は、

いずれも身体能力が高く、将来に期待の持てるダンサーたちだった。作品的には、双子の日常をつづった五代姉妹の「目に映る私」が秀逸だった。一般のグループ(個人)では、11人の女性ダンサーが同一のタイト姿で心象的な群舞を展開し

化フォーラム大ホール)は、多彩な出演陣の熱演もあって正味3時間近くをたっぷり楽しませた。オリジナル版と銘打った「海賊」は須山仁美の構成・振付。様々なバリエーションや男性ダンサーの勇壮な踊り、幻想美の花園などの見せ場を、明快な構成と流麗な展開で活写した秀作である。色彩感豊かな衣装や照明に加え、ダイナミックな背景画の

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「ダンスパラダイス」

現代舞踊協会中部支部(支部長・野々村明子)の「ダンスパラダイス」が円形劇場で開かれた(9月16日・千種文化小劇場)。観客は至近距離でダンサーを見るのが出来るがダンサーには「逃げ

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

「ダンスパラダイス」

明快な構成と流麗な展開で活写

須山仁美「海賊」

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」(撮影・和光写真)

「キミのために散る」2024

ミュージカル

原作・作詞：あおい英斗
作曲・編曲・指揮：宗川論理夫
上演台本・演出：田尾下哲
振付：名鶴ひとみ

6日 7日

タケシ 大田翔(SIRIUS) 田中俊太郎(SIRIUS) 松波千津子

スーザン 青木エマ 奥村育子 榊原忠美 他

2024年12月

1回目 6日 金 18:30開演

2回目 7日 日 15:00開演

会場：メニコン シアターAoi
愛知県名古屋市東区葵三丁目21-19
Menicon Theater Aoi Bld.内

チケット料金(税込) [全席指定]

一般 前売 6,000円 / 当日 6,500円
高校生以下 3,000円(前売り・当日ともに)

主催：株式会社マミ、日本新作ミュージカル制作委員会 後援：名古屋市教育委員会、公益財団法人名古屋市文化振興事業団
制作：メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエイション部

メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエイション部
Tel.052-935-1630 受付時間 平日10:00~18:00

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】
株式会社マミ・プロ
TEL 052(508)5095
郵便振替口座 00880-6-206130

和光写真/衛テス・大阪/映三光/Hide Dance Lab./衛ビデオ映社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊予子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作
秋田 喜子 北村 哲也 仲条 優理
荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子
飯田 光代 佐藤 典子 名鶴ひとみ
出田 光代 佐藤美智子 西川 長秀
伊藤 修 佐野 和美 野々山保治
伊藤 敬 澤脇 達晴 野村 祐子
伊藤 直樹 白樺 八青 服部 節子
稲垣 舞比 三つとほる 花咲 市岡
今村 早知 杉江 瑠美 花柳 馨優
内田 寿菊 鈴木 幾子 林 雅仁
内田 寿千代 鈴木久美子 福井 啓子
内田 寿晴 鈴木 文雄 淵本晴都子
内田のり子 須山 仁美 松波千津子
内田のり美 角田真優美 松本 道子
大寺 資二 高倉 麻耶 見波 紀子
岡田 一男 武市 孝三 宮西 圭子
岡崎 保彦 竹元まき子 山口 雅子
小野由加利 玉田 弘子 よしみゆうこ
小倉ひろこ 田淵友佳理 吉田 尚弘
加藤 静子 つつみあつき 渡部 千枝
金澤 志保 手塚 淑子 ほか
蟹江 尾八 戸田美江子

加藤佳代子ピアノ CD発売記念コンサート

Time & Fate 時と巡る

リットと歌で語り継ぐ無名の小宇宙

Program
This concert will be devoted to the world of the composer, who was born in 1900 in the town of Kariya, Aichi Prefecture. The program includes works by Liszt, Chopin, and Debussy, which are deeply connected to her life and the town of Kariya.

2024年12月5日(土) 13:30開演
2024年12月7日(日) 14:00開演

佐々木利子&N響メンバーによる
ピアノ五重奏曲2曲
～「鐘」誕生の地を探る～

2024年12月7日(日) 14:00開演
ザコナートホール

世界のカリスマ

フィルハーモニーモニクス

ザンメルリン

2024年12月11日(木) 18:00開演
ザコナートホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き



女声アンサンブル「クレメンツ」の第6回演奏会
(9月16日・HITOM Iホール)、タイトル「私のお気に入り」は、ミュー

ミュージカルの人気曲で楽しく

アンサンブル「クレメンツ」の第6回演奏会から。

ソプラノ 眞美子、堀田裕子、メゾソプラノ 村洋子、佐藤綾音の4人前中はミュージカルの舞台ザルツブルグつながりでモーツァルトの歌曲。後半が「ドレミの歌」ひとりぼっちの羊飼いの「エーデルワイス」。

ラベルの舞曲の世界が広がった

ピアノ石川馨栄子のラヴェル全曲演奏会(全2回)の第2回(9月28日・電気文化会館)は、いろいろな舞曲が並んだ。「古風なメヌエット」などの後、前半のメイン「クープランの墓。第一次大戦で戦死した友人を追

ほびてではない。後半の最初は「グロテスクなセレナーデ」。タイトルを痛感した。



伸した18世紀フランスの古典的組曲。さまざまな6曲をストレートに心地よく聴かせた。

後半、4人はアルプスの少女風の民族衣装で登場。曲に合わせて振り付け、ミュージカルの雰囲気を出した。

大編成作品も巧みな編曲で達成

ヴィオラッシモ

名古屋フィルハーモニー交響楽団のヴィオラ奏者には「VIOLOSSIMO」(ヴィオラッシモ)の第9回公演(9月9日・電気文化会館)、名古屋は3年ぶり、7回目。

首席の石橋直子、叶澤が、ユニークで新鮮。高雅で感傷的なワルツは短い7曲の連作で、一つの物語を聴かせるように音が流れを表現した。最後は極め付けの「ラ・ヴァルス」。華やかなヴィーンの宮廷舞踏会を思わせるワルツの決定版。持ち前の強めのタッチで、鮮やかなピアノイズムを披露した。

古澤巖のハルシムフィルハーモニック
愛のクリスマス
2024

2024年12月13日(金) 電気文化会館 ザコナートホール
開演18:00(開演18:45) 一般 ¥12,000 U25 ¥3,000(学生優待)

ロシア民謡万華鏡
2024

2024年12月14日(土) 18:00開演(17:30開演)
ザコナートホール
一般 ¥4,000 学生 ¥3,000

大同特殊堂 名演奏家シリーズ 2024
田所光之
マルセル
ピアノ・リサイタル

2024年12月20日(木) 18:00開演
ザコナートホール

MUSICA NUOVA
JAPERÀ with DIVA

2024年12月21日(土) 14:00開演
一般 ¥5,000 学生 ¥3,000

千住 真理子
クリスマスディナー
コンサート2024

2024年12月23日(月) 18:00開演
ザコナートホール
一般 ¥23,000 学生 ¥18,000

和楽器でメリクリスマス
～おもしろいクリスマスに贈る音楽～

2024年12月25日(水) 11:30開演 11:00開演
一般 ¥1,000 学生 ¥500

豊田自動織機 Presents
Charity Concert 2024

指揮 尾高忠明

チェロ 宮田大

2024.12.18(水) 18:45開演(18:00開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

PROGRAM
エルガー 行進曲「威風堂々」第1番
チェロ協奏曲
エニゲマ変奏曲

管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

9/21(土) 10:00～ 一般発売開始

チケット 7,000円 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円(全席指定・税込)

主催：株式会社 豊田自動織機 お問い合わせ：クラシック名古屋 ☎ 052-678-5310



戸澤采紀
ヴァイオリンリサイタル

小井土文哉
ピアノリサイタル

2024.11.30(土) 14:00開演(13:30開場)
ザコナートホール
全席指定 ¥3,000(税込)

2024.12.2(月) 19:00開演(18:30開場)
ザコナートホール
全席指定 ¥3,000(税込)

ニューイヤーコンサート2025
ウィーンフォルクスオーヴァー交響楽団

2025年1月19日(日) 15:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

大同特殊堂 名演奏家シリーズ 2024
三浦一馬キンテート
NEW YEAR CONCERT
2025年1月19日(日) 15:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

クラシック名古屋

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

アイ・チケット 0570-00-5310

(11:00～16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまでオペレーターが丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。